

中山観光 季節のおはなし・旅便い5月号

さわやかな風が吹き渡る季節となりました。

5月は行く春を惜しみながらも、立夏を迎え

さわやかな初夏の気候を楽しむ毎日・・

気持ちのよい新緑や色とりどりに咲き誇る花など、

自然の美しさや生命力を感じられる月です

ぜひ5月の魅力を堪能してみてくださいね。



新緑が目にあぶしい5月になりました

5月の和風月名といえば、「**皐月(さつき)**」が馴染み深いですね。早苗を植える時期の「早苗月」を略したのが「**さつき**」の語源だそうです。「**皐月**」の「**さ**」は、田の神、あるいは、田の神に捧げる稲を表すといわれます。

皐月



確かに・・・5月の田植えに関しては、稲の苗を意味する「**早苗(さなえ)**」苗を植える「**早乙女**」、田植えの時期に降る「**五月雨**」など、「**さ**」から始まる言葉がありますね



早乙女とは、田植の日に苗を田に植える女性のこと。

田植えは一種の神事（ハレの儀式）としての性質を持っており、早乙女はハレ着（紺の単衣に赤い袴、白い手ぬぐい、新しい菅笠）を着用して田植えに臨みました

五月雨は、陰暦5月「皐月」の頃に降りつづく長雨。

陰暦5月は現代の暦だと6月頃にあたり、時期的に梅雨の長雨を意味しています。

「さみだれ」の「みだれ」の語源は、水が垂れるという意味の「水垂（みだれ）」に由来すると考えられます

五月晴れとは、陰暦5月「皐月」の頃に見られる、梅雨の合間の晴天を意味し

現代の暦における5月のすがすがしい晴天を指す言葉としても使われます。



宮崎駿監督・スタジオジブリ制作の長編アニメーション映画

『となりのトトロ』に登場するサツキは5月の和名

「皐月（さつき）」に由来しているのをご存じでしょうか・・・

サツキの妹メイも、サツキと同じく5月由来ですが、

こちらは5月の英語名「May（メイ）」が語源となっています



トトロに出会う前、サツキとメイが入院している母の見舞いに二人で行ったのは、サツキの通う学校が「田植え休み」の日。昔の日本の農家では、5月（皐月）の田植えの時期は家族総出で田んぼに稲を植えるため、地域によっては学校が数日休校になることがありました。

雨の日のバス停のシーンは、旧暦5月（現在の6月頃）の梅雨の頃。つまり「皐月（さつき）」の頃です。サツキとメイがトトロにつかまって空を飛ぶシーンでは、水が張られた田んぼが広がる農村の大自然が背景に描かれています。田んぼと関連性がある時期と場所を背景に展開されるストーリーの映画において、主人公の名前が旧暦5月と関連のあるサツキとメイであることは、決して偶然の一致ではないのです。



5月9日は アイスクリームの日

日本アイスクリーム協会が制定したアイスクリームの日。
アイスクリームのシーズンインとなる連休明けに定められた。

アイスクリームは、幕末に外国へ渡った人々によって、
初めてその味がわが国に伝えられました。



1964年5月9日に、日本アイスクリーム協会の前身となる東京アイスクリーム協会が
記念事業を開催したことが由来。日本初のアイスクリームは1869年に町田房蔵が
横浜の馬車道通りに開いた「氷水屋」で「あいすくりん」という名称でした。
初販売の日は7月とされています。

今年の母の日は5月14日(日)

日本で『母の日』が広まり始めたのは、明治時代末期と言われています。
キリスト教会を中心に広がり、当時は日本の皇后の誕生日だった3月6日を
『母の日』としていました。その後、某大手お菓子メーカーが行った「母の日大会」を
きっかけに日本全国に広がります。

1945年第二次世界大戦後、アメリカの占領期間にGHQが日本に『母の日』を
普及させたことで、ほとんどの国民に認知されました。1949年には、
日本でもアメリカに倣い5月の第2日曜日を『母の日』と定め、この日から正式に
『母の日』が決まり、現在でも続いています。

Mother's
Day

自社運営のプラットフォームで
「アイスクリームの日」にちなんだアンケートを実施

人気アイスクリーム

- 総合1位は「ハーゲンダッツ ミニカップ」
- 2位「チョコモナカジャンボ」
- 3位「雪見だいふく」



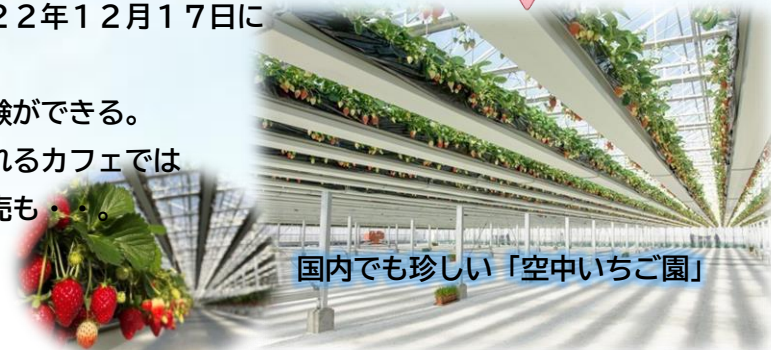
お知らせ

4月28日に道の駅常総がオープン

茨城県内16番目の道の駅が誕生しました
場所は圏央道常総インターチェンジに隣接しており
新しい道の駅は、圏央道常総ICにほぼ直結
今後は、「TSUTAYA BOOKSTORE」
「温浴施設」の開業も予定されており
常陸牛・つくば鶏、県産さつまいもにメロンも！
特産品を活用したオリジナル商品を多数揃え
食・農・楽がテーマの道の駅です
是非お出かけ下さい



茨城県常総市といえば一足先に観光農園、**グランベリー大地**が2022年12月17日に
グランドオープンしています。**日本最大級の空中いちご園**で、
宙に浮かぶイチゴを立ったまま収穫できる、新感覚のイチゴ狩り体験ができる。
そのほか、園内で収穫した新鮮なイチゴの販売はもちろん、併設されるカフェでは
園内のイチゴをふんだんに使用したイチゴスイーツやお土産品の販売も。
秋には芋掘り体験も行なわれるなど、年中味覚狩りを楽しめる
観光農園となっている。
関東初のリフト式いちご狩りが楽しめる農園です！



国内でも珍しい「空中いちご園」

5月は春から初夏に移り変わる季節！
青々とした緑が目立つようになります。
晴れ日も多くレジャーに最適です。
ゴールデンウィークも重なるので、
おでかけにピッタリな時期！

5月に出会える景色を楽しみましょう

第32回竜神峡鯉のぼりまつり

2023年4月29日(土・祝)～5月14日(日)

毎年4月下旬から5月中旬にかけて開催されている

「竜神峡鯉のぼりまつり」

まばゆいばかりの新緑の中、およそ1,000匹の鯉のぼりが竜神大吊橋を中心とした竜神峡一帯を壮大に泳ぎます。

会場では春の味覚の山菜と野菜を置く物産市や豪華賞品が当たるクイズといったさまざまなイベントが行われ、多くの人でにぎわいます。

5月5日のこどもの日には、小中学生の大吊橋の渡橋料が無料になります

今年の大藤は観測史上最も早い開花日となりました

樹齢160年におよぶ600畳敷きの藤棚を持つ大藤や

長さ80メートルもの白藤のトンネル、きばな藤など350本以上の藤が咲き誇ります。

咲く藤色の順番としては、うす紅、紫、白、黄色の順番で約1ヶ月間楽しめます。

同時期に見頃を迎える5000本以上のツツジと共に百花繚乱の世界が広がります。



竜神大吊橋は、全長375m。
歩行者専用の橋としては、
日本最大級の長さを誇ります

今年もたくさんのイベントが催されますので、
是非このGWは竜神大吊橋へお越しください。

鯉のぼりは、男の子の成長を祝って飾られ、

『健やかな成長と立身出世を願う意味』が込められていますが大空を悠々と泳ぐ鯉のぼりのように、大きく元気に育ってほしいという意味があります。また、鯉は丈夫な魚で、沼や池といった清流以外の場所にも適応し、生きていくことができることから鯉のように逆境にも負けず難関を突破する強い人に成長してほしい、という願いも込められています。



世界一の美しさを誇る大藤

あしかがフラワーパーク

ふじのはな物語～大藤まつり

2023年4月12日(水)～5月14日(日)